
千葉キャンペーン

2024年12月5日



入江研究室

千葉大学環境リモートセンシング研究センター

横田海人ヲヒム

2024年12月5日15時の観測結果

□ 千葉サイトにおける気象観測の実況値を国際式の天気記号記入方式で作成する

地上観測データ(Maximet)

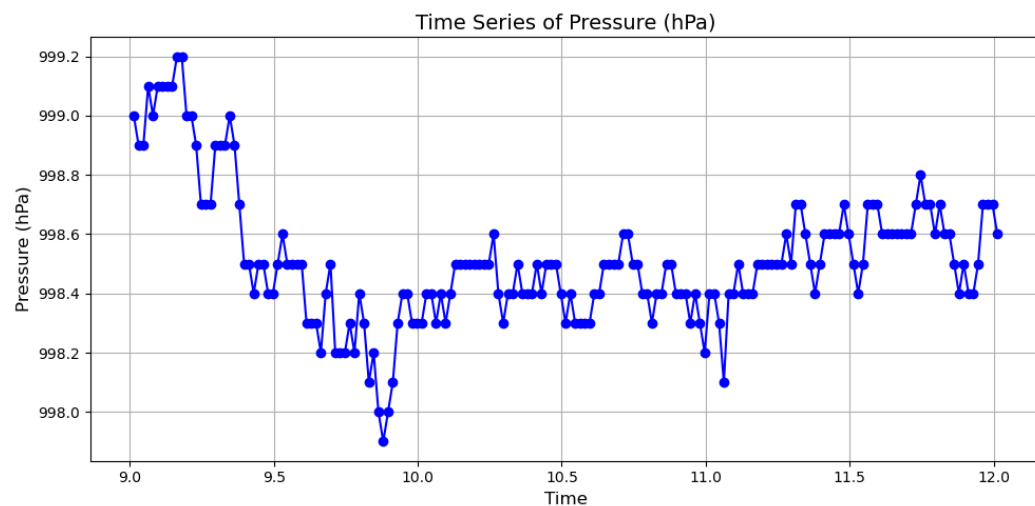
・ 風向・風速	<u>269.49°・4.39 kt</u>  <u>西の風、風速2.26 m/s</u>
・ 気温・露点温度	<u>15.1℃・7.9℃</u>
・ 気圧	<u>998.6 hPa</u>
・ 気圧変化量(前3h)	<u>-0.4 hPa</u>
・ 気圧変化傾向(前3h)	<u>下降後上昇</u>

目視観測またはスカイビューカメラ

・ 現在天気	<u>薄曇</u>
・ 視程	<u>21km (市川駅のビルまで見えた) コード:71</u>
・ 全雲量	<u>8分雲量で8分の7</u>
・ 下層雲量	<u>1以下</u>
・ 下層雲形	<u>積雲(扁平な積雲)</u>
・ 中層雲形	<u>高層雲(不透明な高層雲または乱層雲)</u>
・ 高層雲形	<u>なし (中層雲に覆われて確認できない)</u>

2024年12月5日15時の観測結果

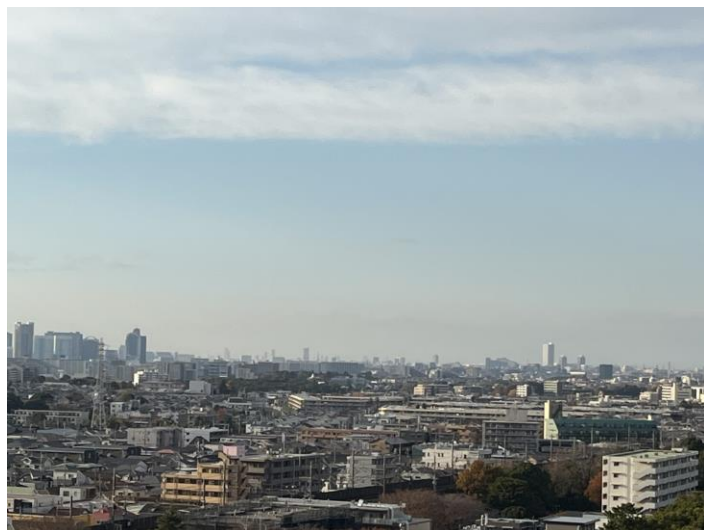
▶ 前3時間の気圧変化 昨日より変化幅は小さい



▶ 西の空 環ができないので中層雲と推定



▶ 北の空 晴れている。右から津田沼・船橋・本八幡・市川の駅ビル



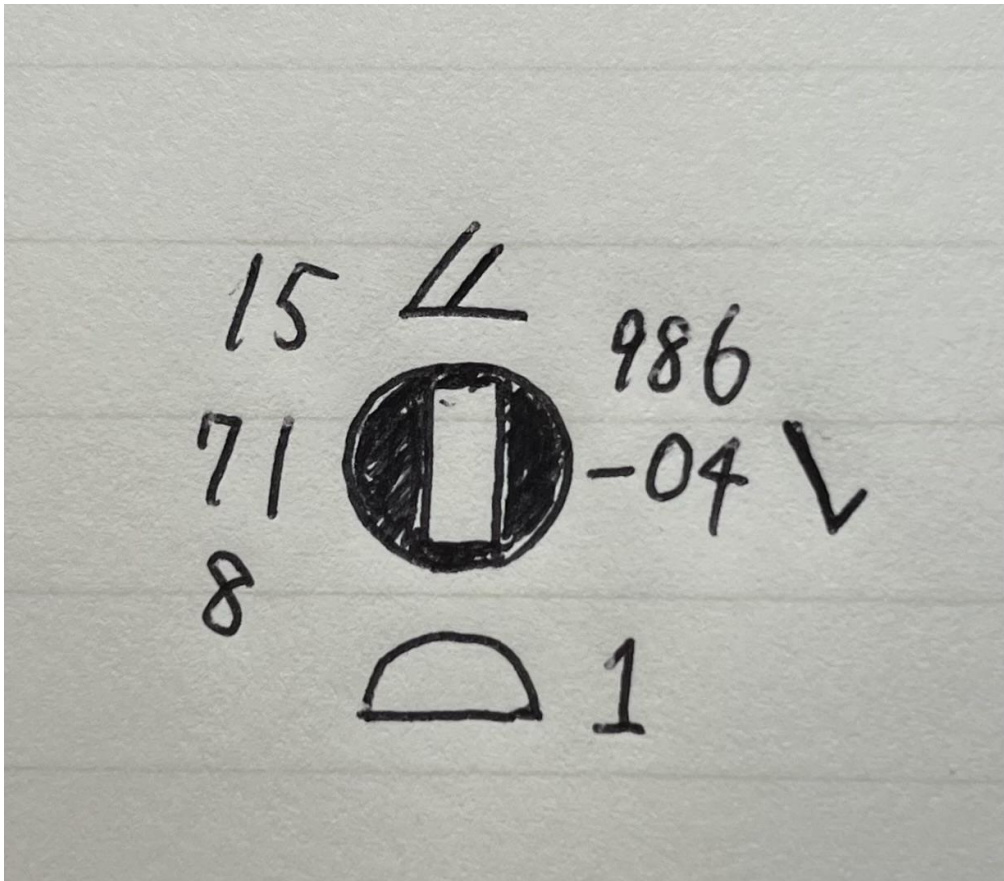
▶ 南の空 広く覆う高層雲と黒みがかった積雲



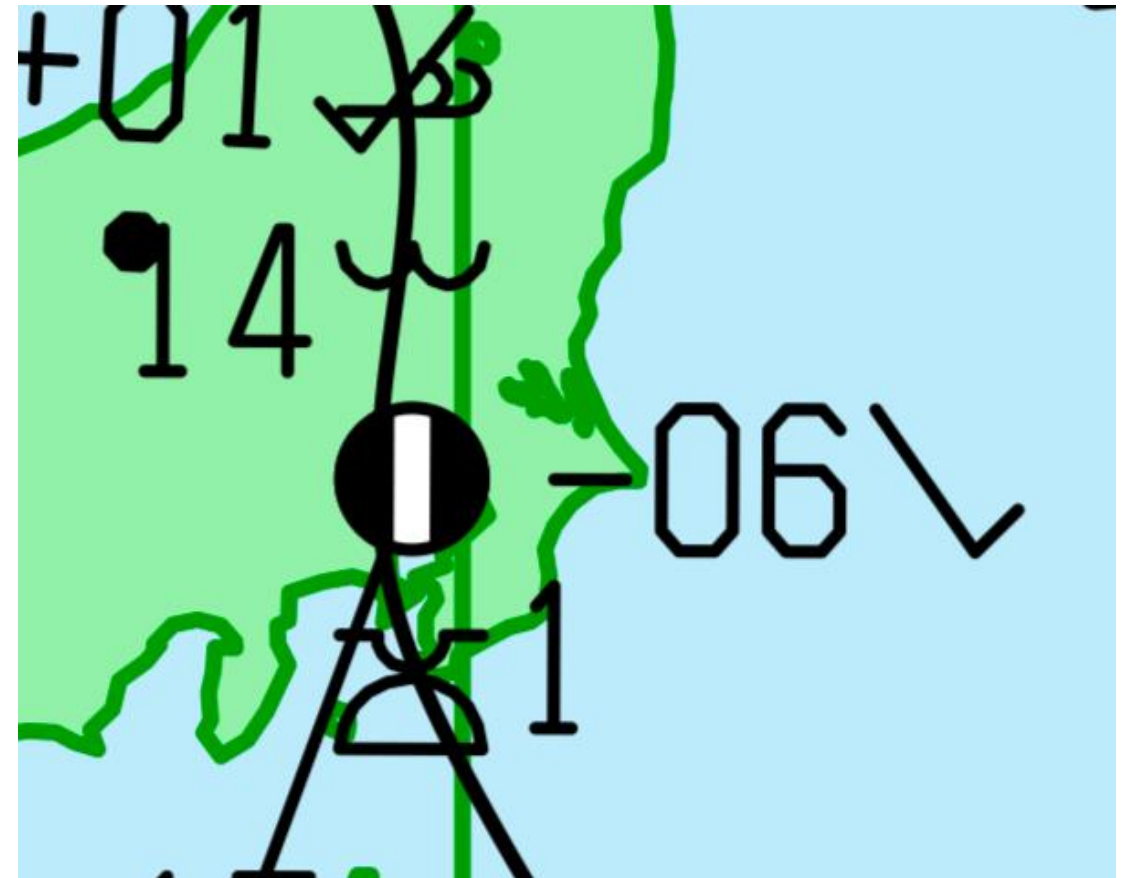
国際式の天気記号記入方式で作成 ⇒ アジア太平洋天気図と比較

- ▶ アジア太平洋天気図(9時、15時、21時の観測をそれぞれ2時間半後に発表している)
上の東京の観測と比較してみた

▶ 千葉 2024年12月5日15時



▶ アジア太平洋天気図 東京 15時



国際式の天気記号記入方式で作成 ⇨アジア太平洋天気図と比較

▶アジア太平洋天気図(9時、15時、21時の観測をそれぞれ2時間半後に発表している)
上の東京の観測と比較してみた⇨

- ・雲量の判定は一致した(全雲量7、下層雲量1以下)
 - ・気圧の変化量はほぼ同じ、気圧変化傾向は一致(下降後上昇)
 - ・気温は千葉の方が1度高い
 - ・雲の形状の判定は、場所と技量の違い(涙)からずれていた。
 - ・下層雲について、同じ積雲でも、東京では「積雲が広がってできたものではない層積雲と積雲の共存」
 - ・東京では、上層雲が確認され、「積乱雲から発生したものではない濃密な巻雲」
 - ・東京では、中層雲が「不透明な高層雲または乱層雲」ではなく、「半透明状の薄い高積雲」
- ⇨場所こそ違うものの、見比べることで目視観測の力をつけていきたいと感じた。